

# 淀川本川から万博会場への観光船運航を見据えて 川船・海船の乗り換え実証試験を実施しました

2025年大阪・関西万博開催期間中の淀川本川から万博会場（夢洲）への観光船の就航を想定し、航路の安全運航、川船・海船の乗り換え施設に関する技術的課題の検討を目的として、実証試験を実施しました。実証試験では、伝法大橋下流にスパッド台船（固定設備付き台船）を使用した仮乗換設備を設置し、川船から海船に乗り換えました。

事業者からは、乗換施設の雨天時の対策（雨除け）やバリアフリー化（スロープ）が必要という意見があり、今後いただいた意見も参考に、乗り換え施設の具体化を検討していきます。

20m×3台 = 60m

設置したスパッド台船（乗換施設）

川船から海船に乗り換えの様子

- 日時：令和5年10月11日(水) 13:30～16:55  
 ○参加人数：55人(舟運事業者、旅行事業者、水上安全協会、水都大阪コンソーシアム、関係行政機関（近畿運輸局、大阪港湾局 等）)  
 ○スケジュール  
 13:30 新北野船着場 出発  
 14:00 淀川大堰下流  
 14:45 伝法 川船・海船乗り換え  
 15:55 舞洲仮設船着場  
 16:55 大阪中央卸売市場前港 到着



記者対応の様子



新北野船着場(川船)



舞洲仮設船着場(海船)

川船：船高が低く、喫水が浅いため、桁の低い橋の下は航行できるが、波・うねりに弱い  
 海船：船高が高く、喫水が深いため、波・うねりに強いが、桁の低い橋の下は航行できない